

<Research Consortium> 関西学院大学総合政策研究 科リサーチ・コンソーシアム第19回総会記念事業報 告

著者	細見 和志
雑誌名	総合政策研究
号	54
ページ	67-69
発行年	2017-09-20
URL	http://hdl.handle.net/10236/00026045

関西学院大学総合政策研究科リサーチ・コンソーシアム 第19回総会記念事業報告

細見 和志
Kazushi Hosomi

【記念事業の趣旨】

今年度は、「AIは社会をどう変えるのか?」というメインテーマを掲げ、リサーチ・コンソーシアム総会記念事業を開催致しました。いま話題のAIですが、総合政策研究科としては単なる技術革新の問題ではなく、これからAIの研究開発がどんどん進展していくと、社会はどのように変わり、私たちの暮らしにどのような影響を及ぼすのかという問題を、複合的な視点から考えてみることにしました。

総会記念講演では、楽天株式会社 執行役員で楽天技術研究所 代表の森正弥氏から、「『個別化』後の人工知能活用と協創の世界」というタイトルで、ビジネスにおけるAIと今後の展開についてお話いただきました。森氏は、具体的な事例を次々と紹介されながら、ビジネスの現場でAIがどのように活用されているのかを、わかりやすく紹介してくださいました。

記念講演を受けてのパネルディスカッションでは、森氏と2名の本学教員、文学研究科の三浦麻子教授、総合政策研究科の朴勝俊教授にパネリストとして登壇いただき、角谷和俊 総合政策学部教授の司会のもと、人工知能への期待や危機感について、社会心理学や環境経済学、社会情報学の観点から討論していただきました。

【総会記念講演】

テ ー マ：「個別化」後の人工知能活用と協創の世界
講 師：森 正弥氏(楽天技術研究所 代表／楽天株式会社 執行役員)
司 会：角谷 和俊(総合政策研究科教授)

【パネルディスカッション】

総会記念講演に続き、「AIは社会をどう変えるのか?」と題して、3名のパネリストによるパネルディスカッションが開催されました。

パネリスト：森 正弥氏(楽天技術研究所 代表／楽天株式会社 執行役員)
三浦 麻子(文学研究科 教授/関西学院大学社会心理学研究センター長)
朴 勝俊(総合政策研究科 教授)
司 会：角谷 和俊(総合政策研究科教授)

【ポスターセッション】

西宮上ヶ原キャンパスの関西学院会館ロビーにおいて恒例のポスターセッションが開催されました。学外会員(企業等)6件、総合政策研究科13件、合計19件のポスター発表が行われました。

(1) 学外会員

印藤 昭一(三田市 地域戦略室)他1名

「わが国『化学』の祖」川本幸民とビールを核とした「地域の創生」戦略」

本山 英俊(TOTO株式会社 水栓商品統括部水栓商品企画グループ)他1名

「シャワーの吐水技術について」

中野 幸紀(合同会社ジフティク 代表)他1名

「都内タクシー料金改定と生産学習効果の及ぼすタクシーサービス生産および消費への影響分析(仮題)」

野畠 章吾((株)クロス クリエイティブ コア 代表取締役)他8名

「関西学院大学 総合政策学部 白山麓実習の活動報告—白山手取川ジオパークの政策的役割を支援する」

上杉 哲夫(エスペック株式会社 環境管理室)他3名

「エスペック(株)の森づくりセミナーと連携した関西学院大学総合政策学部の里山実習」

大隅 要(株式会社 ロジックアンドサプライズ 代表取締役)

「外国人留学生における採用環境の実態と課題」

(2) 総合政策研究科・総合政策学部

魏 小娥(総合政策研究科研究員)

「アートイベントは地域を変えたか—奈良県町家の芸術祭はならあとを事例として—」

宮崎 康支(総合政策研究科研究員)

「ディスコース研究とアドヴォカシーの接点—発達障害を事例として—」

青木 嵩(総合政策研究科 M2)

「郊外住宅地における生活拠点施設の立地変遷と分散および集約化傾向の分析—兵庫県三木市緑が丘町・志染青山地区を対象に—」

葦原 彩人(総合政策研究科 M2)

「なにが日本の長期景気後退を引き起こしたか?—動学的確率的一般均衡モデルを用いた実証分析—」

于 麗雅(総合政策研究科 M2)

「朝鮮戦争期の中朝関係の再検討」

坂井 章(総合政策研究科 M2)

「まちの魅力向上に関する研究—兵庫県朝来市和田山町竹田を対象に—」

齊 派(総合政策研究科 M2)

「中国における低所得者向けの住宅政策—北京市の大規模住宅団地における調査報告—」

曹 琛茜(総合政策研究科 M2)

「オバマ政権対華政策は本当に急に強硬になったのか アメリカの「アジアシフト」を中心に」

孫 光宇(総合政策研究科 M2)

「超高層建物のモニタリングによる損傷推定法に関する研究」

高見 将大(総合政策研究科 M2)

「位置情報付き写真を用いた観光客の動態の研究—兵庫県朝来市竹田地域を対象に—」

村田 真悟(総合政策研究科 M2)

「サウンド・スケープの追求—兵庫県丹波市柏原町を対象に—」

林 利憲(総合政策研究科 M1)

「An Active Communication Mechanism based on User Behavior Analysis for Wedding Community Sites」

成川 健太郎(総合政策研究科 M1)

「略地図の地理情報分析によるデフォルメ地図生成方式」